

2026年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試 B日程

国 語

全学部 全学科

◎問題用紙 5枚
◎解答用紙 1枚(両面)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

国 語

※答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

問題一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(ア)

(a)

(イ)

(ウ)

(エ)

(b)

(オ)

(カ)

(c)

問一 — 線 (ア) く (カ) のカタカナを漢字で、漢字はその読み方を平仮名で書きなさい。

問二 — 線 (ア) と (ウ) の反意語を書きなさい。

問三 — 線 (a) 「とはどのようなことか、次の①～⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 日本人は自尊心を高めるために労力を惜しまない。
- ② 日本人は周囲の意向を優先するため自分の意見を出そうとしない。
- ③ 日本人は自尊心を維持するよりも他者との関係や結びつきを重視する。
- ④ 日本人はアメリカ人の自尊心を追求する行動をうらやましく感じている。
- ⑤ 日本人は周囲から浮いてしまうことを恐れ周りの顔色をうかがう。

問四 — 線 (b) 「は何か、本文中でそれについて言及している一文の最初と最後の五文字を抜き出しなさい。

問五 — 線 (c) について、筆者は「
」と言っているが、それはどのような意味か、分かりやすく説明しなさい。

問六 本文の内容として誤っているものを次の①～⑥から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 欧米の人たちは、自分の自尊感情が危機に瀕すると、相手の価値を引きずり落としてでも自分の自尊感情を維持し、守ろうとする。
- ② 自己肯定感という自分を価値あるものとして自分で認める感情は人間に共通しているが、その発現の仕方は文化的な違いがある。
- ③ 欧米型の自己肯定感は、日本社会では調和を乱すものとしてかえって生きにくくしてしまう。
- ④ 日本人は人より前に出たり目立ったりすることよりも集団性を重視し、良好な人間関係を築いてその中に溶け込むことに価値を見出す。
- ⑤ 欧米の人たちの自信たっぷりな言動は日本人には見苦しく感じることもある。
- ⑥ 欧米の若者と日本の若者とは国際比較調査の自己肯定感の得点に大きな開きがあり、世界で活躍できる日本人を育てるためには自己肯定感を高める教育が必要である。

問七 本文を読んで、「日本の若者の自己肯定感」に対する自分の考えを百字以内で書きなさい。

問題二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

Blank writing area for Question 7, containing 18 vertical bars and a label (ア) on the left side.

Vertical bar

Vertical bar

(カ)

Vertical bar

Vertical bar

(c)

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

(オ)

Vertical bar

Vertical bar

(H)

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

(B)

(c)

(c)

Vertical bar

(A)

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

Vertical bar

(ウ)

Vertical bar

Vertical bar

(b)

Vertical bar

Vertical bar


Vertical bar

Vertical bar


(イ)

Vertical bar

問一 ―線 (ア) く (カ) のカタカナを漢字で、漢字はその読み方を平仮名で書きなさい。

問二 ―線 (a) 『』は日本最古の歴史書と言われているが、この本が成立したのは何時代か、次の①～⑤から選び、その記号を書きなさい。

- ① 弥生時代
- ② 古墳時代
- ③ 飛鳥時代
- ④ 奈良時代
- ⑤ 平安時代

問三 ―線 (b) 「」は、何を表現している可能性を筆者は指摘しているか、三十字以内で説明しなさい。

問四 ―線 (c) 「」の意味と、この慣用句を使って短文を作りなさい。

問五 筆者は「ヒト」と「人」を使い分けている。どのような意味で使用しているのか、それぞれ説明しなさい。

問六 文中の (A) (B) (C) に当てはまるものを次の①～⑨から選び、それぞれその記号を書きなさい。ただし (A) (B) の解答の順序は問わない。

- ① かわいい
- ② めずらしい
- ③ ありがたい
- ④ いさましい
- ⑤ なつかしい
- ⑥ たのもし
- ⑦ いまわしい
- ⑧ おそろしい
- ⑨ うつくしい

問七 人間と自然との関係性はどのように変化したか、本文の内容と合うものを次の①～⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 自然の力は強大で恐ろしく、人間が入り込んではいけないものとなった。
- ② 自然は人間の知識や技術である程度コントロールでき、活用したり楽しんだりするものとなった。
- ③ 動物も自然の一部として、神格化され触れてはいけないものとなった。
- ④ 自然は人間に役立つものとして開発し利用されるものとなった。
- ⑤ 動物も人間も同じ生き物として自然に生かされているものとなった。